

平成26年5月13日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
 代表取締役社長兼 CEO 古川 令治
 (コード3121 東証2部)
 問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 宮毛 忠相
 (TEL 03-5224-4900)

平成26年3月期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成26年2月12日に公表しました平成26年3月期の通期連結業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成26年3月期連結業績予想数値と実績値との差異 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	3,920	31	44	28	1円30銭
今回修正予想(B)	3,868	20	26	22	1円00銭
増減額(B-A)	△51	△11	△18	△7	
増減率	△1.3%	△33.8%	△41.1%	△23.0%	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	3,762	△92	△80	16	0円73銭

2. 差異の理由

売上高は3,868百万円(業績予想は3,920百万円)となりました。差異の要因は、オペレーション事業における店舗売上が全般に見込みに及ばなかったこと、並びに子会社旭工業株式会社において3月に予定していた納品が次期にずれ込んだことなどです。

営業利益は20百万円(業績予想は31百万円)となりました。報告セグメントごとの差異の要因は以下の通りです。

- ①マーチャント・バンキング事業は、ほぼ見込み通り、セグメント利益121百万円(業績予想は121百万円)となりました。
- ②オペレーション事業は、ほぼ見込み通り、セグメント利益22百万円(業績予想は21百万円)となりました。
- ③マニファクチュアリング事業は、3月に納品を予定していた納品が次期にずれ込んだことなどから、セグメント利益27百万円(業績予想は35百万円)となりました。
- ④各報告セグメントに属さない全社管理費用は、諸経費が若干見込みを上回り、△150百万円(当初予想は△146百万円)となりました。

経常利益については、上記要因のほか、為替相場の変動による為替差益の減少などから、26百万円(業績予想は35百万円)となりました。

当期利益については、上記要因のほか、本社移転の特別損失及び税金費用がいずれも見込みを下回ったことなどから、22百万円(業績予想は28百万円)に下方修正いたします。

以 上